公開用

木更津総合高等学校
教務部　小林弘幸

令和7年度学校評価

本年度掲げた教務目標に対する反省項目

点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
出欠、成績入力の厳正化	2	毎年問題となっています。エラーの検出頻度を高くして対応中。	授業担当者の入力の有無を問わず担任が入力できるようになったが、未入力を発見しにくくなっている。
観点別評価のあり方を再考してゆく	2	成績入力についても相変わらず未入力や、確認を怠るケースも多く見受けられています。	観点別評価は必ず読み合わせを実施する。

通常業務の中間反省項目

点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
時間割(時間割作成自習監督の各ハウス伝達。自習監督の割り当てコンピュータ入力変更時間割変更)	3	ほぼ全員が関わっている作業である。必ずしも最適な対策が講じられたかは疑問を残すが、自己評価としては例年度同様その労力に評価「3」を与えたい。	今期は各自確認する場面が多くなり、皮肉であるが自分の授業確認をする先生が多くなった。
定期試験・追試験・再試験(定期試験時間割・監督表の作成1・2年追試験実施　時間割・監督表の作成・集計・追試問題回収　追試願回収・追試者のPC入力(ハウス責任者)追試験及び監督割り当て当番※試験監督は原則全員特別再試験実施要項　時間割・監督表の作成	2	試験を欠席して遠足に参加した生徒が見られた。不思議なことに5/21(テスト最終日)まで出席停止という連絡が多く見られた。テストを軽視している証拠である。	追試験の受験条件をもっと厳しくした方がよいと考える。多少無理して本試験を受けた生徒と、休む必要もないのに追試を受けた生徒との差は大きい。
日程・行事(行事予定表の作成学期末日程調整特別時間割及び時制作成・ハウス掲示指示)	1	年間行事予定はあちらを立てればこちらが立たずで、根本的な改革は、行事の削減だが、行事を楽しみに登校している生徒も多いので毎年試行錯誤が必要	その年に応じて計画を立てるしかない。
年間指導計画(年間指導計画・進度表の用紙作成・回収・保管)	2	特に問題はない。	進度表の必要有無が問われている。

点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教育課程(教育課程の作成)	2	ある程度の問題点は洗い出ししている。本校の、未履修科目があっても必履修でなければ進級できるという規定の影響で、分割履修時の単位認定が複雑になっている。	分割履修科目はできるだけ避け、また、分割履修科目は必履修とする必要がありそうである。また、進級条件の見直しも必要。
教科書・補助教材(教科書・補助教材の申請及び発注教科書教科ごとの確認・配布企画・販売)	2	昨年に引き続き、教科書は配布のみ、代金は引き落としで実施。この先副教材も一緒に販売し、トータルで引き落としを実施するのがよいと思われる。	ただし、副教材の準備が大変なことと、比較的早い時期(年内)に教材決定が必要。最新版を使用することが出来ない。
授業時間(授業時間の時報　放送)	1	曜日間の格差は修正できなかった。	年間レベルでは出来るだけ曜日間の差がないように計画はしているが、現実的に無理である。
研究授業(研究授業の企画・進行)	2	どうしても年度末に偏ってしまう。	行事の合間を縫って、計画する関係上後回しにされてしまう傾向にある。
実力テスト(新入生実力テストの企画・進行・集計・配送)	3	よく追試験の日時を聞かれるが、追試験を実施することは不可能である。オリエンテーションの日に追試験を実施しているが、参考点であって、実際にクラス分けには使用できない。	例年欠席者が多く、クラス分けの参考にするには厳しい。
教育実習(教育実習生の受け入れ・指導)	2	このところ、意欲、成績のよくない実習生が増えてきた。今年度も途中で脱落する者あり。	次年度も12人程度の申し込みがある。卒業生は原則受け入れている。
スクールバス(スクールバスの配車)	3	直接運輸とやりとりしている。特に問題ないと思う。	特に問題なし
指導要録・出席簿(指導要録・出席簿の管理指導要録の作成指示及び点検)	2	ミスはやむを得ないが、あまりに多すぎる。	観点別評価の結果であるが、読み合わせをしっかりと行う。
コース履修(コース履修届の準備・説明会企画実施学習手引き原稿作成・印刷・製本集計(集計用紙作成も含む))	2	コースの選択、科目の選択と煩雑で、特に1年生は、入学して早々コース選択する必要性がある。生徒も教員も趣旨が理解し切れない。	美術コース、グローバルスタディコースが総合選択制の利用が不可になる予定。他のコースにおいても、総合選択制を見直す時期に来ているように思う。

優れている・・・3、適切・・・2、改善が必要・・・1